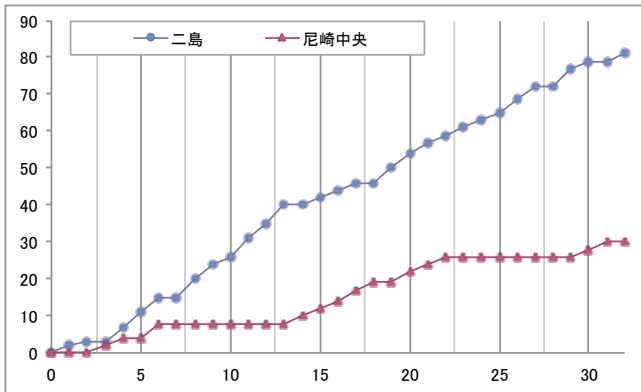




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会							
会場	勝山市体育館ジオアリーナ							
日時	2016年8月23日(火) 9:30							
コート	KAコート 第1試合							
カテゴリー	女子選Iリーグ第1試合							
主審	吉田康人							
副審	石川貴基							
TEAM A	TEAM B							
二島 (福岡)	<table border="0"> <tr> <td>20 1st 8</td> <td rowspan="4">30</td> <td rowspan="4">●</td> <td rowspan="4">尼崎中央 (兵庫)</td> </tr> <tr> <td>24 2nd 6</td> </tr> <tr> <td>19 3rd 12</td> </tr> <tr> <td>18 4th 4</td> </tr> </table>	20 1st 8	30	●	尼崎中央 (兵庫)	24 2nd 6	19 3rd 12	18 4th 4
20 1st 8	30	●				尼崎中央 (兵庫)		
24 2nd 6								
19 3rd 12								
18 4th 4								

得点経過



BOXスコア

TEAM A		二島						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	早川 千華	/	0	0	0	0	0	
5	徳永 夏	/	2	0	1	0	0	
6	池下 陽菜	/	5	1	1	0	1	
7	中村 理瑚	/	7	1	2	0	0	
8	小柳 亜結	×	6	0	3	0	2	
9	首藤 祐希	×	20	0	9	2	0	
10	吉村 琉李	/	0	0	0	0	0	
11	野満 咲良	/	0	0	0	0	0	
12	梶原 早智	/	0	0	0	0	0	
13	川口 結菜	/	0	0	0	0	0	
14	中嶋 ゆめ(CAP)	×	8	2	1	0	1	
15	齋藤 風香	/	4	0	2	0	0	
16	中園 陽菜乃	×	20	0	9	2	0	
17	池松 美波	×	9	1	3	0	1	
18	浦野 来望	/	0	0	0	0	0	
コーチ	山崎 修							
合計			81	5	31	4	5	

TEAM B		尼崎中央						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	進 琴海(CAP)	×	8	0	3	2	1	
5	山口 櫻子	×	0	0	0	0	2	
6	甲斐 真菜美	×	5	1	1	0	0	
7	海野 志歩	/	2	0	1	0	2	
8	野中 桜	/	0	0	0	0	9	
9	染川 祐生	/	0	0	0	0	0	
10	橋本 瑞希	×	6	0	3	0	2	
11	藤田 あさひ	/	0	0	0	0	0	
12	濱田 陽莉	/	0	0	0	0	0	
13	大崎 莉瑚	×	7	1	2	0	0	
14	松田 夢実	DNP	0	0	0	0	0	
15	浅井 海槻	/	2	0	1	0	1	
16	大村 愛子	DNP	0	0	0	0	0	
17	松木 りん	DNP	0	0	0	0	0	
18	橋本 美咲	/	0	0	0	0	0	
コーチ	松本 康久							
合計			30	2	11	2	17	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

全中出場常連の九州ブロック1位二島と近畿ブロック3位尼崎中央の一戦。両チームともに、defはハーフマンツ。立ち上がり、二島#17のドライブから#16がジャンプシュート。身長で優位に立つ二島のドライブとリバウンドに対し、尼崎中央はボックスアウトとドライブで粘る。二島は#9を中心に、インサイドを攻める。尼崎中央は全員が足を使ってドライブと3Pをおりませて攻めるが、defリバウンドをとられ、二島20-8尼崎中央で1Qを終える。2Qは、二島#9の2P、#17のスチールからの連続得点で始まる。尼崎中央もドライブで果敢に攻めるが、インサイドを攻めあぐねる。しかし、終盤、#19から#13の合わせが決まり、久々の得点となる。二島44-14尼崎中央で前半を折り返す。  
後半は、尼崎中央#6の3Pが決まり、チームを勢いづける。二島も#9から#16への合わせが決まる。二島のオールラウンダー#9を止められず、点差は徐々に開く。尼崎中央はアウトサイドからの攻めを余儀なくされるが、#13と#10が3Pを、#4がジャンプシュートを決める。しかし、defリバウンドを確実にものにした二島が始終ゲームを優位に進め、二島63-26尼崎中央で3Qを終える。4Qになり、先ほどまで疲れが見えていた尼崎中央も、再び足を使ったdefで、二島の速攻を食い止める。残り2分、#6がエンドスローインからゴール下で決めたバックシュートが冴えた。残り1分になっても、どちらも固いdefで、ボールに必死に食らいつく。結果、81-30で二島の勝利となったが、defにおける二島#9の活躍が光るゲームであった。

記者者 辻崎千尋 (所属) 福井県バスケットボール協会